

| | |
|-------|--|
| 研究テーマ | 〔IV 人や作品との対話やかかわりを大切にした造形教育を考える〕 グループでの学び合いを通して、見方や感じ方を深め、表現力を高める指導の工夫 ～中学校1年 「自然の形をもとにして」ステンシル制作を通して～ |
|-------|--|

筑西市立下館中学校 教諭 嶋山由美子

1 テーマについて

新指導要領では、豊かに感じ取る力を育成するため、表現及び鑑賞の各活動において、共通に働く資質や能力が〔共通事項〕として新設された。創造性を育成するためには、対象を表面的な見方や感じ方だけでなく幅広く見つめることができるように、豊かに感じ取る力を身に付けることが必要である。本研究では、学び合いを通して、他者の見方や感じ方を知ったり、自分の思いを伝えたりすることで、更に見方や感じ方を深めることにつながると考えた。そして、どのように表現したいのか自分なりのイメージをしっかりとちながら活動していくことで表現力を高められると考え、本テーマを設定した。

2 実践例

(1) 題材名 自然の形をもとにして

(2) 題材の目標

- 自然物の形に関心を持ち、そこから発見したものを基に構想を練り、創造的に表現するとともに、美しく個性的な形や色の組み合わせの面白さを感じ取り、価値意識をもって味わう。

(3) 題材について

本題材は、自然物の特徴を生かして新しく構成し、ステンシルの技法を使って表現することを楽しむ題材である。普段何気なく見ている野菜や果物などの自然物は、注意深く観察することにより、美しさや秩序を感じ取ることができる。自然界から見付けた色や形の美しさやよさを、自分なりに新たな造形的イメージを膨らませて表現することにより発想力や構想力を伸ばすことをねらいとしている。

1年生の1学期には、色の性質や分類について学び、ポスターカラーで平塗りをする経験をした。多くの生徒は、自分で混色して色を作り、枠から出ないように丁寧に仕上げる事ができたが、絵の具や筆の扱いに慣れていない生徒も見られた。また、アンケートの結果から、生徒の多くは絵を描くことに関心があり、「観察して描くことや自由に描くことが好き」という生徒が多いことが分かった。制作には意欲的であるが、ステンシルの経験がある生徒はいなかった。また、カッターを使った経験はあっても、細かい作業をして作品をつくった経験はない。

そこでこの題材では、自分がデザインし、つくったものが生活の中で使える喜びを味わい、最後まで興味をもって取り組めるように、ステンシルの技法を使いエコバッグを制作することにした。自然物のスケッチをしたものを構成する段階では、イメージを具体化するための単純化や強調の仕方、構成美について学び、作品に生かせるようにしたい。ステンシルの版をつくる段階では、技術的に抵抗を感じる生徒も出てくると思われるので、制作手順を分かりやすく示したり、学び合いの場を設けたりして根気強く制作が続けられるよう支援していきたい。さらに、ステンシルの技法を習得することで、他のいろいろなものにも活用することができることに気付かせ、創作することへの興味・関心を高めたい。

(4) 題材の評価基準

| 美術への関心・意欲・態度 | 発想や構想の能 | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
|---|--|---|--|
| 自然物を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを表現することに関心を持ち、工夫しながら主体的に表そうとしている。 | 自然物を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴や美しさを基に、創造的な構成を工夫している。 | 版表現の技法や材料の特性を身に付け、形や色の効果を生かし創意工夫して表現している。 | 版表現の作品から形や色を構成して効果的に表した美しさやよさを感じ取っている。 |

(5) 指導と評価の計画（9時間扱い）

| 時間 | 学 習 内 容 ・ 活 動 | 評 価 規 準 ・【評価方法】 |
|----|----------------------------------|--|
| 1 | ・自然物を、様々な角度や断面から観察し、アイデアスケッチをする。 | ・自然物の形に関心を持ち、美しさを見付けようとしている。 関【観察・スケッチ】 ・自然物を見て形の特徴をつかみ、スケッチしている。 技【スケッチ】 |
| 2 | ・自然物のスケッチをもとに、新しい形を描く。 | ・スケッチから単純化や強調を考え、新しい形を構想している。 発【アイデアスケッチ】 |
| 3 | ・アイデアスケッチをもとに形を整え、配色計画を立てる。 | ・表現したいイメージをもちながら、線や面を整理したり、配色を考えたりして下絵を描いている。 発【観察・下絵】 |
| 4 | ・ステンシル版画について知り、版をつくる。 | ・下絵の線を大切にしながら、版をカッターで切り抜いている。 技【観察・版】 |
| 5 | ・構成美の要素を理解し、バッグのアイデアスケッチをする。 | ・構成美の要素を生かしながら、全体の画面構成を考えている。 発【アイデアスケッチ】 |
| 6 | ・彩色の手順を理解し、試し刷りができる。 | ・構成美やステンシル版表現に関心を持ち表現の方法を考えて表そうとしている。 関【観察】 ・彩色の手順を理解し、試し刷りをしている。 技【作品】 |
| ⑦ | ・版の置き方や配色を工夫し、バッグに彩色する。 (本時) | ・配置や配色を工夫し、見当に合わせてバックに丁寧に彩色している。 技【観察・作品】 |
| 8 | ・全体のバランスを考えてバッグに彩色する。 | ・配色の効果や構成美を考えながら表現している。 発【観察・作品】 |
| 9 | ・自他の作品を鑑賞し、それぞれの作品のよさを味わう。 | ・自他の作品を鑑賞し、よさや工夫していることをまとめている。 鑑【ワークシート・学習カード】 |

(6) 本時の展開

① 目標






ステンシルの手順を理解し、配置や配色の工夫をしながらバッグにきれいに彩色することができる。

(創造的な技能)

② 準備 ・資料

イベントカラー、スポンジ、タオル、ステンシルの版、試し刷りの作品、エコバッグ、新聞紙、学習カード、参考作品、パレット

③ 展開

| 学 習 活 動・内 容 | 支 援 ・ 指 導 上 の 留 意 点 発 問 |
|--|---|
| <p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>版の置き方や配色を工夫し、バッグにきれいに彩色しよう。</p> </div> <p>2 試し刷りを見せ合い話し合う。</p> <p>(1) グループ内で、アドバイスし合う。 〈話し合いのポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配色 ・ 配置 ・ 彩色の仕方 <p>(2) 全体で話し合う。</p> <p>3 バッグに彩色する。 〈彩色の手順〉</p> <p>① バッグに「見当」を付ける。 </p> <p>② バッグの「見当」に版の「見当」を合わせる。 </p> <p>③ パレットに絵の具を少量出す。 </p> <p>④ スポンジでよく伸ばし、軽く叩いていく。 </p> <p>⑤ 次の版を「見当」に合わせて、同じように彩色する。</p> <p>4 後片付けをする。</p> <p>5 途中の作品の相互鑑賞を行う。</p> <p>6 本時の学習のまとめと自己評価をする。</p> <p>7 次時の学習課題をとらえる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 色の組み合わせや版の置き方を工夫してエコバッグに彩色することを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>試し刷りの作品について、説明してください。配色・配置・彩色などについてグループでアドバイスしましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の作品の工夫した点やアドバイスされたことをもとに一人一人が課題をもって取り組めるようにする。 ・ 配色・配置・彩色の仕方など、話し合いのポイントを示す。また、構成美の要素を意識しながら話し合いができるよう助言する。 ・ 布地の下に絵の具が染みないように、バッグの間に新聞紙を挟むようにする。 ・ 「見当」の重要性について確認し、どの版も彩色する前に必ず「見当」に合わせることを伝える。 ・ 重ね塗り刷る部分の順番を確認しながら作業を進めるよう助言する。 ・ 絵の具はスポンジに少量付けて伸ばし、様子を見ながら軽く叩いていくよう助言する。 ・ 上位の生徒には、ぼかしや重色などの表現について助言し意欲付けを図りたい。 ・ 努力を要する生徒に対しては、配色などについて一緒に考えたり、見当の合わせ方やスポンジの使い方について実演する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> 配置や配色を工夫し、「見当」に合わせて彩色している。（作品・観察）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ お互いの作品のよさや工夫点を見付け合い、参考とさせたい。 ・ 版の置き方や配色を工夫し、「見当」に合わせて彩色することで美しい表現ができることがまとめられるようにする。 ・ 学び合いで分かったことや、本時の活動を学習カードに記入することで、次時への目標をもてるようにする。 ・ 全体のバランスを考えて彩色し、エコバッグを完成させることを伝える。 |

3 成果と課題

【成果】

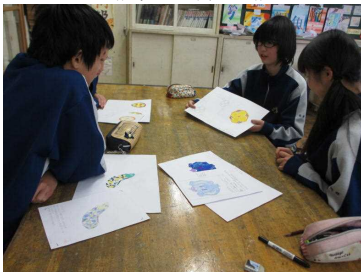
今回の授業は、透明ファイルを利用したステンシルの試し刷りをもとに、色の組み合わせや版の置き方を工夫してエコバッグに彩色する授業を行った。

生徒は、前時に試し刷りを行い、彩色の手順やスポンジの使い方などを学習した。本時は、グループ内で自分の作品の工夫点を発表し、お互いにアドバイスし合う時間を設定した。事前に、アイデアスケッチの段階で工夫点を記入し、どのような作品にしたいのか明確にしておいた。また、構成美の要素（グラデーション・アクセント・シンメトリー・リピテーション・リズム・バランス・コントラストなど）や話合いのポイント（配色・配置・彩色の仕方）を黒板に掲示したりすることで、一人一人の作品のどのような点が工夫され、どこを改善すべきかを具体的に話し合うことができた。そして、友達からのアドバイスをもとに一人一人が課題をもって取り組めることができた。制作中も、「この色と合う？」「ちょっとうすいんじゃない？」などの学び合いが見られた。それぞれ工夫しながら慎重に作業しており、自分の思うような表現ができた生徒が多かった。

【課題】

グループでの話合いで、お互いに賞賛したりアドバイスし合うことができた。しかし、話合いだけで記録する活動はなかった。一つ一つの作品について意見交換した内容を記録できるワークシートを準備し活用すれば、より自分のイメージをしっかりとちながら取り組むことができたのではないかと反省した。また、友達との対話は、積極的に取り入れていきたいが、1時間の授業のなかで、入れられないときもある。どの場面に取り入れたら効果的なのか十分検討していきたい。さらに、評価については、グループ内でお互いになのかにかかわっているかを適切に見取るための方法を工夫していく必要がある。題材の課題としては、導入の段階を大切に、誰かにプレゼントするのか、自分ならどんなときに使うのか、ワークシート等を工夫して考えさせ、作品への思いをもって制作に取り組めるとよかったと思う。

《学び合い》



《生徒作品》



《制作の様子》

